

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

当社では従来より、感染症対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。

【職員の健康チェックを徹底しています。】

- ✦ 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を徹底しています。

【職員の手指消毒を徹底しています。】

- ✦ 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- ✦ 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- ✦ 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

【献血会場の良好な衛生環境を保持しています。】

- ✦ 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。
- ✦ 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場設営をしています。

《皆様へのお願い》

- ✦ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
- ✦ 入口にて体温測定を実施しています。
(発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。)
- ✦ 必ず、マスクの着用をお願いしています。

※介助者等付き添いの方もお願いします。

新型コロナウイルス感染の拡大下でも、毎日約 14,000 人の方からの献血のご協力が必要です。尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症について

1. 新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。
2. 一般的に、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合は、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスを感染させる可能性も最も高くなると考えられています。しかし、新型コロナウイルスでは、発症の2日前から発症後7～10日間程度他の人に感染させる可能性があると考えられています。特に、発症の直前・直後でウイルス排出量が高くなるため、無症状病原体保有者（症状はないが検査が陽性だった者）からも、感染する可能性があります。
3. 感染を予防するためには、人と人との距離をとること（Social distancing: 社会的距離）、外出時はマスクを着用する、家の中でも咳エチケットを心がける、さらに家やオフィスの換気を十分にする、十分な睡眠などで自己の健康管理をしっかりとすることで、自己のみならず、他人への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することが必要です。

※厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関するQ&A」より抜粋

献血会場での安全対策

◎感染者や感染の疑いのある方の献血会場への入場をお断りしています。

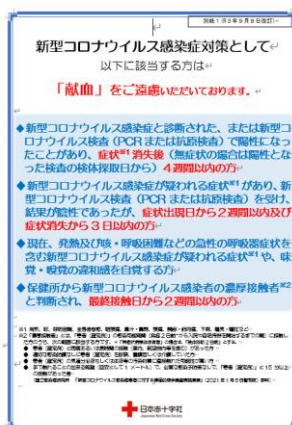
- ①入口での注意喚起（写真①）
- ②体温測定（写真②）
- ③手指消毒（写真③）
- ④お願いパンフレット（写真④）

◎会場入口での手指消毒を徹底し、接触感染を予防します。

（入口の他にも要所に消毒液を設置しています。）

◎必ず、マスクの着用をお願いしています。

◎献血にご協力いただく方には、健康状態を正確にお答えいただくなど責任ある献血をお願いしています。



写真①



写真②



写真③



写真④

Q1 献血会場で感染することはないのか？

A1 体温測定、手指消毒、マスクの着用、会場内での消毒及び清掃を徹底し感染防止に細心の注意を払い、安全な会場設営に努めています。また、看護師は献血者毎に手袋を交換しています。

Q2 既に感染している献血者が献血会場に来ることはないのか？

A2 献血会場入口での体温測定で、発熱が認められる方及び以下の項目に該当する方は、会場への入場をご遠慮いただいています。

- ・新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）で陽性になったことがあり、症状消失後（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）4週間以内の方
- ・新型コロナウイルス感染症が疑われる症状があり、新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）を受け、結果が陰性であったが、症状出現日から2週間以内及び症状消失から3日以内の方
- ・現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる症状や、味覚・嗅覚の違和感を自覚する方
- ・保健所から新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者と判断され、最終接触日から2週間以内の方

Q3 献血実施後に、社内で献血協力者以外の社員に感染が確認された場合はどのような対応を取ればいいのか？

A3 献血協力者に対し、献血後に保健所から新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査の対象（濃厚接触者）であると連絡があり、濃厚接触の対象日から2週間以内に献血日が含まれていた場合は、該当献血者の「献血日、氏名、生年月日」をできるだけ早く血液センターにご連絡いただくようお願いしております。

また、献血された方が、献血後2週間以内に「新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）が陽性となった」、医療機関で「新型コロナウイルス感染症」と診断された、または「新型コロナウイルス感染症の疑い」とされPCR または抗原検査を受けた場合や、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがあった、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症を疑う症状、味覚・嗅覚の違和感があった、接触確認アプリCOCOAから接触通知があり、接触の心当たりがあり、接触日以降2週間以内に献血していた場合も血液センターへのご連絡をお願いしています。こちらについては、全ての献血者に対し、献血時にご案内させていただいております。

Q4 新型コロナワクチンの接種をしたが献血は可能か？

A4 mRNA ワクチン（ファイザー製・モデルナ製）につきましては、接種後48時間経過していれば献血は可能です。しかし、ワクチン接種後、全身倦怠感、全身の筋肉痛等の全身性の副反応が認められた方は献血をご遠慮いただく場合がございます。※mRNA ワクチン以外を接種された方は、恐れ入りますが別途お尋ねください。

Q5 新型コロナウイルス対応として献血を中止もしくは延期したいが？

A5 献血会場の安全対策は万全を期していますので、予定どおり是非献血にご協力をお願いします。